



# どうしてそんな かたちなの？

～花の形から植物の生きざまを考える～



エゾママコナとエゾトラマルハナバチ



トベラとアオスジアゲハ

2019年 11 月 30 日 (土) 14:00～16:00

伊丹市立生涯学習センター/ラスタホール3階講座室

身の回りにはいろいろな形、色、においの花があります。どうしてこんなに多様な花ができてきたのでしょうか。身近な花とその花粉を運ぶ昆虫を紹介しながら、植物の生き残るための戦略に触れてみましょう。また、現在研究中のママコナという植物から、花の形の進化がどうして起きたのか考えてみます。

- はせがわ まさひろ
- ゲスト：長谷川 匡弘さん (大阪市立自然史博物館 学芸員)
  - 参加費：800円 (飲み物・お菓子付)
  - 対象：一般 28人 (興味のある方どなたでも。中高生も可)
  - 申込：要事前申し込み ラスタホールへ 来館・電話・メールにて受付  
電話 072-781-8877

メール受付は [lustrehall-itami@hcc1.bai.ne.jp](mailto:lustrehall-itami@hcc1.bai.ne.jp) まで。講座名・住所・氏名・電話番号を明記してください。数日内に返信いたします。

3日以内にメール返信がない場合お電話でお問い合わせください。

○主催：サイエンスカフェ伊丹

○共催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラスタホール、伊丹市教育委員会

○協力：神戸大学サイエンスショップ、ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット

こちらからもどうぞ



ゲスト 長谷川匡弘さん



伊丹市立生涯学習センター  
伊丹市南野 2-3-25 (火曜日休館)